

平成27年度 横川中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（１） 基本目標「自立と貢献」

豊かな心と健やかな体、主体的に考え行動する力、互いに協調して根気強く取り組む態度を培い、将来、社会人として「自立と貢献」ができる人間を育成する。

（２） 具体目標（生徒の指標）

進んで学び主体的に行動する生徒

心豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康で気力のある生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・生徒に生きる力を育むことを目指し、「知・徳・体」の教育を調和的に展開することにより、確かな学力や自ら学び、考え、行動する力、豊かな心、健康な心身をもった人間の育成に努める。
- ・人間尊重の精神を基盤に、多様な資質や個性を持つ生徒に対し、正しい生徒理解や明確な方針に基づき、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成に努める。
- ・教職員としての使命を自覚し教師自らが研鑽に努め、協調して教育活動を推進するとともに、保護者や地域との連携を深め、より一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （１）豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- （２）「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- （３）認めて褒めて、自己肯定感を高める教育の推進
- （４）新しい教育課題に、協調して取り組む教職員の資質向上
- （５）小中学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり

【横川地域学校園教育ビジョン】

豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育

～自分・人・地域を大切にする子どもの育成を目指して～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- （１）学習指導の充実
- （２）自己肯定感を高める教育の推進
- （３）○保護者・地域との連携の推進及び小中一貫教育の推進
- （４）教職員の資質向上

【学 習 指 導】

基礎・基本の定着を図るための「わかる授業」の展開と家庭学習の充実を図る学習指導

- （１）基礎的・基本的事項の定着を図る「わかる授業」の展開
- （２）全教科における思考力、表現力を育てる言語活動の充実
- （３）家庭学習の充実
- （４）豊かな心の育成を目指す道徳教育の充実
- （５）読書活動の充実
- （６）主体性を育てるための特別活動
- （７）特別支援教育の充実

【児 童 生 徒 指 導】

～ルールやマナーを守り、思いやりの心を持って行動する児童生徒の育成～

- （１）基本的生活習慣の徹底
- （２）問題行動等の情報の共有化
- （３）良好な人間関係の育成（コミュニケーション力の育成）
- （４）○家庭・地域との連携・協力
- （５）○横川地域学校園の取組

【健康（保険安全・食育）・体力】

自他の命を大切にし、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

- （１）安全教育（特に、交通安全）
- （２）健康教育
- （３）食育
- （４）体力向上
- （５）清掃
- （６）○横川地域学校園の取組

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「自分は今の学校が好きである」生徒の肯定的回答 80%以上	① 学校行事・集会等では、生徒会活動の活性化に努め、生徒の主体的な活動を生かした指導にあたる。 ② 校内の掲示物を工夫し、生徒の活動を紹介すると共に明るい雰囲気を作り出す。	B	【達成状況】 A 1 生徒の肯定的解答 85.8% ○ ・肯定的回答が生徒、保護者ともに 80%以上であり、目標を達成したと考えられる。 【次年度の方針】 ・これまでの取組を継続し、学校行事や集会で生徒会や学級委員が核となり生徒の主体的な活動を推進するとともに、リーダーの育成に力を入れる。
	A 2 教職員は協力し、生徒の良いところを認め、教えるべきことを熱心に指導している。 【数値指標】 「先生は大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」生徒の肯定的回答 80%以上	① 「わかる授業」「楽しい授業」をめざし、明確な課題設定の工夫に努める。 ② 生徒一人一人の理解に応じたわかりやすい丁寧な指導にあたる。	A	【達成状況】 A 2 生徒の肯定的回答 90.3% ○ ・肯定的回答が生徒、保護者ともに、80%以上あり、目標を達成したと考えられる。 【次年度の方針】 ・「わかる授業」「言語活動の充実」をめざし、見せ合い授業や授業研究会を行い、教科で課題を明確にし、教科部会をこまめに実施するなどして、授業改善に取り組む。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。 【数値指標】 「生徒は授業と生活の決まりやマナーを守って生活している」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 「授業の4つのきまり」「学習の仕方」の徹底とマナーを守ることの大切さを指導する。 ② 道徳や学級活動における指導内容の中に明確に位置づけて指導する。	B	【達成状況】 A 3 生徒の肯定的回答 79.4%で、生徒の肯定的回答は昨年度より 5.5%上がった。保護者の回答は、数値目標を超え、80.1%となったが、昨年より 2.1%減少した。教職員の回答も 9.3%下がっている。 【次年度の方針】 引き続き、「学習の4つのきまり」の再徹底及び学習態度や生活態度のきまりやマナーをしっかりと身につけさせる指導を継続的に行っていく。特に、「タイム着席」「起立、礼」「指名されたらハイ」「人の話を最後まで聴く」のさらなる実践化を図り、生徒が主体的に行動しようとする態度の育成を図る。道徳や学級活動の時間を活用し、規範意識を高める授業実践を行うなど基本的生活習慣の定着に努めていく。

A 4 教職員は、分かりやすい
授業や一人一人へのきめ
細かな指導をしている。

【数値指標】

「先生方の授業は、わかりやす
く一人一人に丁寧に教えてく
れる」生徒の肯定的回答 80%
以上

A 5 学校は、いじめ対策を積
極的に公表し、熱心に取り
組んでいる。

【数値指標】

「先生方は、いじめ対策に熱心
に取り組んでいる」
生徒の肯定的回答 80%以上

A 6 学校の日課、授業、行事
などの教育課程は、適切に
実施されている。

【数値指標】

「学校の日課、授業、行事など
は適切に実施されている」
保護者の肯定的回答 80%以上

① 学力向上非常勤講師を活用し
て、基礎・基本の定着と自主学
習ノートを使った効果的な家庭
学習の指導に努める。

① いじめアンケートの実施やスタ
ンダードダイアリーを活用し
て、いじめの早期発見・早期対
応に努める。

② いじめ対策委員会を通していじ
めの実態の公表や対策を検討す
る。

① 教育課程で適切に時数確保がな
されているが、週案・教科部会
等を通して確認・調整を行う。

② 学校行事等については、P D C
A サイクルで評価、改善等を行
う。

【達成状況】

生徒の肯定的回答 85.0%

・教職員の肯定的回答が昨年に引き続き90%
を越えた。保護者の肯定的回答は5.9ポイント
下がったが、生徒の肯定的回答は昨年度に比
べて2.7ポイント向上した。

B

【次年度の方針】

昨年度に引き続き、授業でT Tやコース別学
習を行うなど、生徒一人一人に個別対応ので
きる、学習指導の体制を整えていく。また、
学級担任を中心に、自主学習を徹底させると
ともに、効果的な家庭学習の指導を工夫して
いく。

【達成状況】

A 5 生徒の肯定的回答は 92.2%で微減、

教職員は 100%だったが、保護者 67.2%、
地域 63.6%で、昨年に比べ、かなり数値が下
がった。

【次年度の方針】

○A10の「あいさつ」・A11の「言葉づかい」
同様、横川地域学校園の共通スローガンにも
なっており、今年度の取り組みを継続し、よ
り一層「いじめを許さない」意識を高められ
るよう努力していく。いじめの未然防止及び
早期発見及びいじめに関する取組状況を保護
者に積極的に発信するとともに、学校と保護
者・地域が連携・協働していじめのない学校
づくりに努める。

B

夏休み明けに、「いじめ等問題行動対策委員会」
を開催し、生徒の健全育成に向け、P T A及
び保護司や青少年育成会等の関係機関と連携
の再確認及び情報交換に努める。地域への発
信が弱いという結果がでているので、積極的
に発信していきたい。

【達成状況】

A 6 保護者の肯定的回答 96.3% ○

・肯定的回答が保護者は96.3%、教職員は
100%であり、教育課程は適切に実施されてい
る。

B

【次年度の方針】

・学校行事等では、職員会議で計画、立案、
調整を行い、終了後PDACサイクルで評価、改
善等を行う。

	B 1 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値目標】 「生徒は交通ルールやマナーを守っている」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 定期的な登校指導や生徒指導だより等を通じて、家庭や地域との連携を図りながら、交通ルールやマナーを守ろうとする意識の向上を図る。	【達成状況】 B 1 生徒の肯定的回答 96.2%，保護者 90.8%，教職員 100%で微増しているが、地域は昨年の 100%から 84.6%に激減している。 【次年度の方針】 交通ルールやマナーの厳守及び安全な登下校の確保は、本校の最重要課題の一つである。全教職員の共通理解の下、毎月の登校指導や随時、「並進禁止」「左側一列走行」等を具体的に注意喚起するなど交通安全の必要性を繰り返し粘り強く指導していく。 今後とも、全校集会や学級での指導はもちろんのこと、家庭や地域の協力の下、安全な自転車走行や生命尊重の意識の高揚に努めていく。 また、現在の通学路において、かなり危険な箇所があるので、通学路の変更も検討している。
教育活動の状況	A 10 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 「生徒はあいさつをしている」 生徒の肯定的回答 80%以上 生 活 A 11 生徒は、時と場に応じた言葉づかいをしている。 【数値指標】 「生徒は場に応じた適切な言葉づかいをしている」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 全職員がすすんであいさつをするとともに、生徒会活動や小中が連携した「あいさつ運動」を実施する。 ① 時と場に応じた正しい言葉づかいについて全職員が様々な場面で指導を行う。	【達成状況】 A10 生徒の肯定的回答は 87.9%で 2.4%増加したが、教職員は 77.1%，保護者は 74.2%，地域住民は 93.3%でそれぞれ昨年よりも微減。 【次年度の方針】 B ○小中一貫教育の取組として、引き続き地域学校園の「小中交流あいさつ運動」「あいさつ運動強化週間」を継続し、さらに魅力ある学校づくり地域協議会と連携し、地域ぐるみであいさつの励行に努めていく。また、生徒会や生活委員会・部活動・クラス単位でのあいさつ運動を展開し、学校の活性化に努めるとともに生徒の豊かな心を育てていく。 【達成状況】 B 保護者の肯定的回答 74.5% 地域住民の肯定的回答が、昨年度に比べて 21.4%と大きく下降している。教職員の肯定的回答も 4.2%下降しているが、保護者、生徒は昨年度に比べてそれぞれ 2.3%，0.9%向上している。 【次年度の方針】 全職員の共通理解のもと、全教科・全領域で適切な言葉遣いや発表の仕方ができるよう教師が模範例を示すなど、その場その場で、繰り返し指導・助言していく。

B 2 教職員は、いじめアンケートや教育相談などを適宜実施し、生徒の悩みに適切に対応している。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、いじめアンケートなどの調査を実施し、生徒の悩み等に適切に対応してくれる」生徒の肯定的回答 80%以上 A 12 生徒は、休み時間や放課後などに積極的に運動をしている。 【数値指標】 「体育の授業において、どの種目に対しても積極的に取り組んでいる」生徒の肯定的回答 80%以上 健康・体力 A 13 生徒は好き嫌いなく給食を食べている。 【数値指標】 「自分の子どもは朝ごはんを食べ、好き嫌いなく食事をしている」保護者の肯定的回答 80% B 3 教職員は、給食後の歯磨きを生徒に呼びかけている。 【数値指標】 「先生方は、給食後の歯磨きを生徒に呼びかけてくれている」生徒の肯定的回答 80%以上	① いじめアンケートの毎月の実施や教育相談の実施により、いじめにつながる言動の早期発見・早期解決に努める。 ② 誰もが、よりよく学校生活が送れるように、いじめを許さない態度を育てる道德等の授業を行う。 ① 体育的行事に意欲的に取り組む実態があるので、企画運営にも参画させ、更に、積極的に取り組ませる。 ② 昼休み、校庭で自由な発想で活動し、積極的に体を動かすことを呼びかける。 ① 毎日の給食で、地産地消に心がけた献立を工夫し、食育の充実を図る。 ② 毎月の「給食だより」で職の大切さを家庭にも伝える。 ① 養護教諭と担任とが連携を図り、歯磨き指導の強化に努める。 ② 地域学校園で、小・中が一貫して個々の健康・増進に努める。	【達成状況】 B 2 生徒の肯定的回答は 89.4%、教職員は 100%で高い数値を維持しているが、保護者が 74.8%、地域が 83.3%で昨年に比べ、激減している。 【次年度の方針】 本校は毎月いじめアンケートを行っており、情報収集には力を入れている。しかし、アンケートだけに頼ることなく、普段の生徒の動向の要観察、生徒からの情報や信頼関係の構築をさらに図っていく必要がある。また、小さなトラブルにも目を向け、教職員間の情報交換を密にアンテナを高くして、「いじめは絶対に許さない」という共通認識の下、悩みや不安等を気軽に相談できる教師と生徒の望ましい人間関係の育成に努める。 道德や学級活動の時間を活用し、思いやりや規範意識を高める授業実践に努めていく。 【達成状況】 ・地域住民の肯定率が81.8%と昨年に比べ下降した。 ・教職員の肯定率も60.0%と大幅な下降が見られた。 【次年度の方針】 ・現在の取り組みを継続し体育的行事をさらに充実させていく。 ・ルールを守れずボールを取り上げられることが見られた為、ルールを守って遊ぶよう呼びかける。 ・文化部の生徒に声をかけ運動を呼びかける。 【達成状況】 ・教職員の肯定率が82.9%と高い数値が見られ、生徒の肯定率が74.6%と昨年の数値を上回っている。 【次年度の方針】 ・生徒が苦手としてそうな食材を調理実習で取り上げる。 ・食文化を意識した「給食だより」を発行する。 【達成状況】 ・3年計画の最終年にあたり、生徒自らの歯磨きが定着しつつある。 ・生徒の心身の健康について情報を共有して、好ましい働きかけができた。 【次年度の方針】 ・生徒の状況を見つつ指導していく。 ・うつのみや元気っ子プロジェクトを推進する。
--	---	--

学 習	A14 生徒は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している。 【数値指標】 先生方は、放課後や夏休みを利用して、学習相談を希望する生徒の支援をしてくれる。 生徒の肯定的回答 80%以上	① 部活動のない日や定期テスト前の放課後等、さらに長期休業中における学習相談会の機会を増やし充実させる。	【達成状況】 保護者の肯定的回答 80.1% 保護者の肯定的回答が昨年度に比べ、2.7%向上している。また、教職員の肯定的回答に関しては、7.3%向上と大きく変化した。生徒は80.5%と昨年度より0.9低い値となっている。
	A15 生徒は、授業中先生や友達のことを良く聞くなど、落ち着いて学習している。 【数値指標】 生徒は、先生や友達のことを良く聞き、落ち着いて学習している。 生徒の肯定的回答 80%以上	① 「学業指導について」（県教委）職員間の周知徹底を図り、授業の工夫を図る。	B 【次年度の方針】 「学習の4つのきまり」を確認し、特に、しっかりと起立・礼をすること、指名された際には返事をするに重点を置いて、本年度同様に生徒指導と協調して積極的に取り組んでいく。また、「見せ合い授業」などを活用し、普段の授業でも活発な言語活動の展開を継続していく。 【達成状況】 生徒の肯定的回答 81.6% 生徒、地域住民の肯定的回答は昨年度よりそれぞれ6%、1.7%高くなっているのに対し、教職員は3.2%低下、保護者は0.8%低下とそれぞれ低い値を示している。
	B4 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室を利用して読書量を増やしている。 【数値指標】 「本校の生徒は読書の時間に進んで本を読んだり、図書室や家庭で本に親しんだりしている」 生徒の肯定的回答 80%以上	① ブックトーク等（図書委員会）による読書の啓発活動を推進する。 ② 朝の読書の意義について全校の共通理解を図る。	B 【次年度の方針】 引き続き学習指導についての職員研修を定期的に行い、充実させる。また、「学習の4つのきまり」を確認させ、授業中のルールを徹底させるとともに、特に個別指導が必要な生徒については、繰り返し丁寧に指導を継続していく。 【達成状況】 生徒の肯定的回答 79.9% 昨年度より5.6%上昇したが、目標を達成できなかった。教職員の肯定的回答も昨年度より2.4%上昇して、91.4%と高かったが、保護者は51.5%と昨年度よりも低い結果となった。

本校の特色・課題等	B5 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「本校の生徒は基本的な学習内容を身に付けるため、家庭でよく学習している」 生徒の肯定的回答 80%以上	① 自主学習ノートの提出による家庭学習の定着を図る。 ② 各教科の課題の提出を徹底し、家庭学習の定着を図る。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 76.7% 昨年度より3.2%上昇したが、目標を達成できなかった。 【次年度の方針】 達成状況の大きな要因は、生徒たちの家庭学習状況が見えにくいことだと考えられる。自主学習の提出率を上げていくために、生徒に対して、定期的に学習アンケートを行い、その結果を、ホームページを通じて発信していく。また、学習習慣を身につけさせるための啓発活動を行っていく。
-----------	--	--	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度もほとんどの項目で昨年度と同様の回答を得た。これは、本校の取り組みや教職員の努力を、学校だよりや学年だより、進路だより・保健だより・生徒指導だより・部活動通信等で積極的に保護者の方や生徒に発信してきた成果と思われる。
- ・N○5、7の質問では、保護者からの回答が、昨年度を下まわっているため、来年度は、各種通信に加えて土曜授業での学校行事や保護者会での授業参観を実施し、より開かれた学校づくりを目指していく。
- ・N○14の質問では、学校長が推し進める「学力向上（授業改善）」及び「学力向上アドバイザー事業」における具体的な指導助言もあり、教職員の「学力向上」への機運が高まりつつある。授業の初めに「明確な目標」を掲げ、最後に「振り返り活動」を取り入れたことで教職員の意識が変わったと思われる。
- ・学校独自のアンケートの「教職員は交通指導を行い、生徒は交通マナーを守り交通事故防止に努めている」は、教職員・保護者・地域住民・児童生徒とも、肯定的回答が高い数字であった。しかし、自転車の乗り方で地域の方から苦情が数件あったので、更に強化していきたい。
- ・N○19の「読書」は教職員、児童生徒ともに昨年度より上昇している。日課の変更（読書⇒朝の会）により、スムーズに読書環境が整ったと思われる。
- 地域学校園で共通して重点目標にあげている、N○10の「あいさつ」では、小中連携しボランティアを募り、小学校へあいさつ運動に出かけており、機運が高まってきている。N○11の「言葉づかい」では、保護者・児童生徒では、昨年度より向上したが、教職員では、一昨年度から下降し続けているので小中連携して対応していきたい。

6 学校関係者評価

- ・年3回の地域協議会で、授業を参観しているが、生徒は落ち着いて授業を受けている。
- ・あいさつを良くしてくれて、気持ちが良い。
- ・自転車の並進や飛び出しを時々見かける。学校と家庭・地域で改善していくことが重要。
- ・学校の様子は、子どもの話を通してしかわからない。PTA役員としては、授業参観やオープンクラスウィーク等でできるだけ多くの保護者の方に学校に来てもらいたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・昨年度から、教職員の資質向上のための「授業力の向上」で全教職員が教科と道徳の授業を公開した。授業参観後に校内で授業研究会を実施し、お互いの授業の在り方について良いところや課題等を出し合い、授業力の向上を目指した。また、当初面談や中間面談等で教職員の取り組みを確認することで奮起を促し、授業改善（わかる授業への取り組み）が浸透してきた。来年度は、更に充実させ、「わかりやすい授業」「言語活動の充実」「明確な目標の設定」「振り返り活動」などの項目が向上するようにしていきたい。
- ・来年度は、土曜授業やオープンスクールに加えて学年保護者会での授業参観を実施し、保護者の方が授業を参観できる機会を増やし、より開かれた学校づくりを目指していく。
- 地域学校園で共通して重点目標にあげている「あいさつ」と「言葉づかい」については、引き続き小中連携して児童生徒に定着するようにしていきたい。